

はじめに

大阪の良さである、強さ、やさしさ、魅力を最大限に活用し、大阪に元気を取り戻すためには、都市活動を支える道路や鉄道などの交通基盤の整備・充実が極めて重要です。

これまで、大阪府では、自動車交通の増大や道路へのニーズの多様化に対応するため、昭和62年12月に策定した大阪府道路整備長期計画（レインボー計画21）に基づき、広域幹線道路から身近な生活道路に至るまで総合的な道路整備を進めてきました。

一方で、近年、少子高齢化の進展や環境問題の深刻化など、交通を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、慢性的な交通渋滞や厳しい沿道環境の改善に加え、バリアフリー化、さらには高度成長期に大量に整備された施設の更新など、課題が山積しています。

大阪の活力と府民の豊かな生活を支える交通を実現するためには、関西圏を見据えた広域交通ネットワークの充実、強化とあわせて、道路と鉄道を一体的にとらえ、公共交通の利便性向上を図るとともに、「生活者の視点」を重視しながら、「府民や事業者との協働・連携」に積極的に取り組むことが大切です。

このたび、大阪府では、21世紀の新しい時代を見据え、概ね平成37（2025）年を目標とした長期的な交通政策の方向を示す「大阪府交通道路マスタープラン」を策定し、大阪の再生、発展に向けた総合的な交通政策を推進することといたしました。

便利で快適な交通を実現するためには、府民や事業者の皆様をはじめ、多くの方々のご協力が不可欠です。本マスタープランの趣旨をご理解いただき、各種施策へのご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



平成16年3月末日

大阪府知事 太田 房江